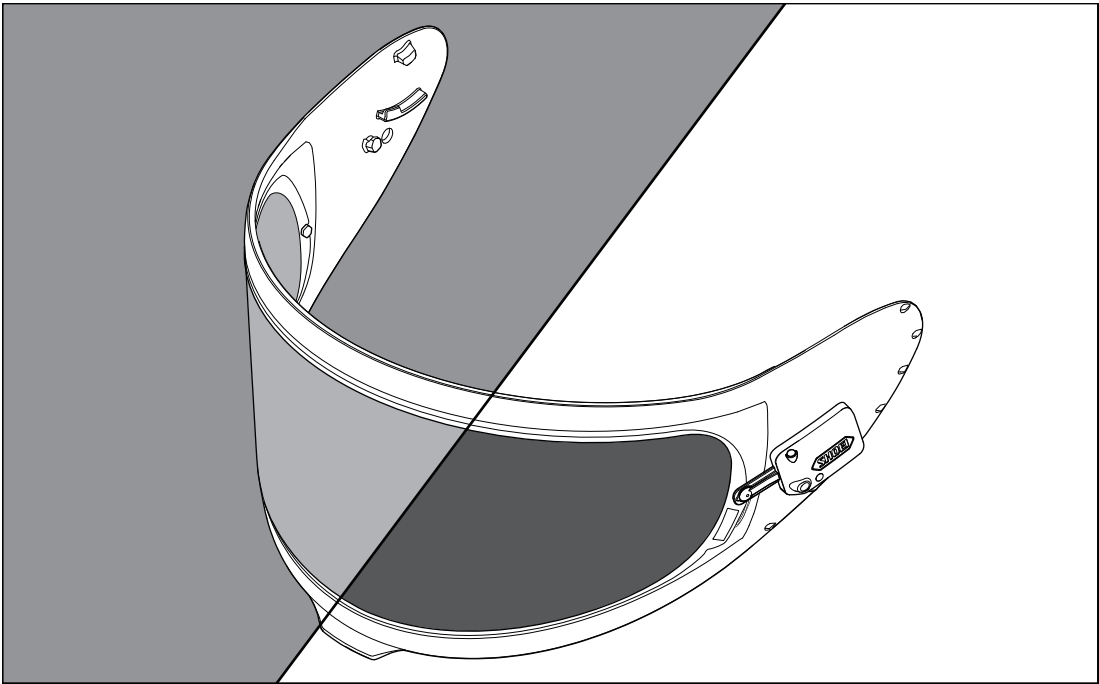




e:DRYLENS の取り扱い方法と ご注意

428



株式会社 SHOEI 本社・国内営業部
〒 110-0016 東京都台東区台東 1-31-7 Tel: 03-5688-5180 Fax: 03-3837-8245
製品についてのお問い合わせは、お近くの SHOEI 正規販売店が下記 Web サイトをご覧ください、お問い合わせください。

SHOEI CO., LTD. HEAD OFFICE
1-31-7 Taito, Taito-ku, Tokyo 110-0016, JAPAN Tel: +81 3 5688 5170 Fax: +81 3 3837 8245
For further information, please consult your local SHOEI distributor or dealer.



shoei.com/worldwide/sales.html

Contents	
日本語	1
English	5

e:DRYLENS の取り扱い方法とご注意

本取扱説明書は、ヘルメットのシールドに、e:DRYLENS を取り付け・取り外しする際の手順や e:DRYLENS コントローラーの操作方法・充電方法などについて記載しています。

e:DRYLENS シートは、タイプにより適合シールドが異なります。e:DRYLENS シートの取り付けには、専用のシールドが必要です。

本作業で必要なもの：e:DRYLENS シート（取り付けるシールド用のものをご準備ください）、e:DRYLENS コントローラー、サービスツールなどの先が平らなプラスチック製の板

※本取扱説明書内のイラストは、代表して、一般的な形状のシールドのイラストを掲載しています。シールドはタイプによって形状が異なります。イラストとは形状の異なるシールドに対しても、本取扱説明書と同じ要領で作業してください。

e:DRYLENS の特徴

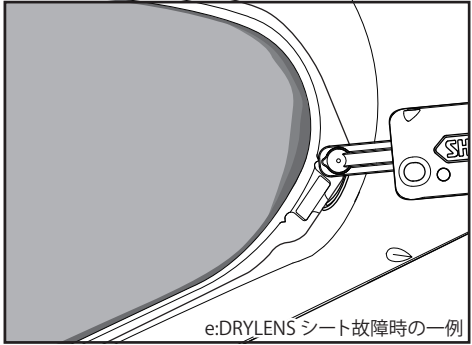
e:DRYLENS は、ベースとなるシールドの内側に透明で柔軟性のある防曇効果の高い e:DRYLENS シートを取り付けることで、シーリングによってシールドとの間に密閉空間を作り、e:DRYLENS シートの防曇効果とシールドとの 2 層構造の効果で曇りを抑え、クリアな視界を確保します。
また、液晶フィルムを使用した電子調光により、マニュアルモードでの手動操作、もしくはオートモードの自動調整で、e:DRYLENS シートの可視光線透過率を「ライト（透過率：高）」と「ダーク（透過率：低）」に切り替えることができます。

e:DRYLENS に関するご注意

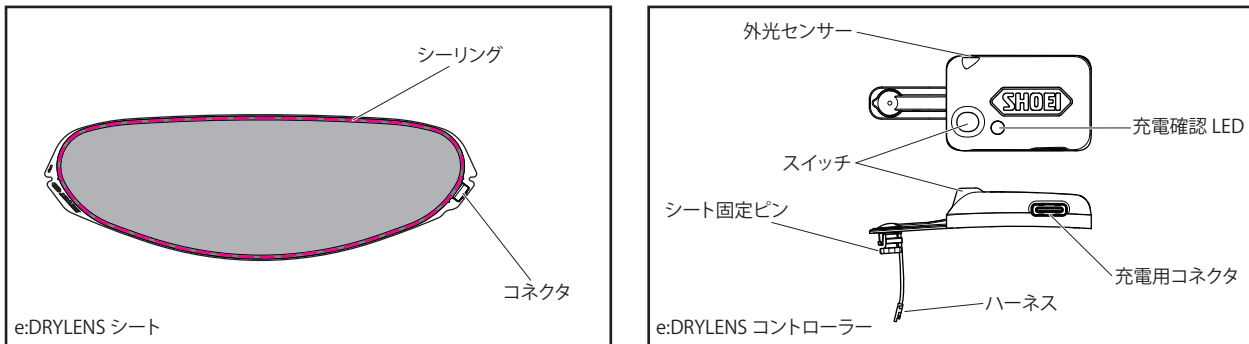
- 警告**
- e:DRYLENS シートは、専用のシールド以外には装着できません。必ず専用のクリアシールド、シート固定ピンおよび e:DRYLENS シートを使用し、専用以外のシールドを加工したり、純正品以外のシート固定ピンを取り付けたりしないでください。また、必ず保護フィルムを全て剥がしてからお使いください。
 - e:DRYLENS シートおよび e:DRYLENS コントローラーを装着した状態で、夜間やトンネル内、雨天、霧などの視界の悪い環境では使用しないでください。
 - e:DRYLENS シートおよび e:DRYLENS コントローラーを保管する際は、直射日光・高温・多湿になる場所を避け室内で保管してください。
 - e:DRYLENS シートおよび e:DRYLENS コントローラーは、分解、改造などをしないでください。異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどの恐れがあります。
 - e:DRYLENS シートおよび e:DRYLENS コントローラーを保管、または使用中に、異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどの異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。
 - e:DRYLENS コントローラーには、充電式のリチウムイオンバッテリーが内蔵されています。必ず本取扱説明書の内容をよく読んで理解し、正しく使用してください。正しく使用しない場合は、異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどの恐れがあります。
 - e:DRYLENS コントローラーの充電に使用する充電器やモバイルバッテリーの USB ケーブルは、必ず本製品の電源仕様（5 V / 50 mA）に適合するものを使用してください。また、直射日光・高温・多湿になる場所を避け、室内で充電してください。
 - e:DRYLENS コントローラーは、充電しながら走行しないでください。
 - 雨水などで e:DRYLENS コントローラーが濡れた場合や、クリーニング後は、水分を拭き取ったとしても、すぐに充電しないでください。充電用コネクタ部分に水分が残っている可能性があり、故障の原因となる恐れがあります。必ず、十分に時間を置いて自然乾燥させてから充電するようにしてください。
 - ヘルメットを落下させたり、ぶつけるなどして、e:DRYLENS シートおよび e:DRYLENS コントローラーに強い衝撃を与えないでください。バッテリーに異音、異臭、発熱、発煙、発火、変色、変形、液漏れなどが発生する恐れがあります。異常が発生した場合は、直ちに使用を中止し、本製品を火災などの心配がない安全な場所に保管した上で、お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。
 - e:DRYLENS シートおよび e:DRYLENS コントローラーをストーブやヒーターなどの高温になる場所に近づけたり、火の中に入れたりしないでください。発火、変形、破損の原因になります。
 - バッテリーから漏れ出た液体が目に入った場合、こすらずきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。失明の恐れがあります。
 - 本製品は日本国内でのみ使用することを前提に設計、製造されています。国外の使用でのトラブルなど是对応いたしかねます。
 - e:DRYLENS シートおよび付属品、梱包物を廃棄する場合は、地域の法律やルールに従って適切に処理してください。e:DRYLENS コントローラーには充電式のリチウムイオンバッテリーが含まれています。廃棄の際はバッテリーを含む製品として、各地域の指示に従いリサイクルまたは適切に処分してください。



- e:DRYLENS コントローラーを装着すると、風切り音が大きくなる場合があります。
- 激しい発汗や呼吸、低温多湿などの曇りやすい条件下でヘルメット内が密閉された状態が続くと、水蒸気で e:DRYLENS シートが飽和状態となり、e:DRYLENS シートを装着してもにじみや曇りが発生することがあります。また、チンカーテンを装着すると、チンガード内の換気が弱まるため、にじみや曇りが発生しやすくなります。（シート固定ピンの周りはピンの構造上シートが浮き、曇りが発生する場合があります。）その際は直ちに使用を中止し、シールドから e:DRYLENS シートを外して、十分乾燥させ、ヘルメットのロアエアインテークを開けるなどして、ヘルメット内をよく換気してください。
- 雨天時は雨水がシールドと e:DRYLENS シートの間に浸入しないように注意してください。特に走行時は、風圧で e:DRYLENS シートのシーリング内に雨水が浸入する可能性があるため、シールドやフェイスカバーは閉めて走行してください。
- シールドと e:DRYLENS シートの間に曇りが発生したり、雨水などが浸入したりしたときは、e:DRYLENS シートを外して、シールドと e:DRYLENS シートの両方を十分に自然乾燥させてから、e:DRYLENS シートを取り付け直してください。
- e:DRYLENS シートは、定期的に取り外し、メンテナンスを行ってください。長期間装着したままにすると、シーリングがシールド面に貼り付くことがあります。
- e:DRYLENS シートを保管する際は、柔らかい布などで包み、直射日光・高温・多湿になる場所を避け室内で保管してください。埃などが付着した際は、エアダスターを使用するとスムーズにゴミを除去出来ます。製品パッケージに戻しての保管や、e:DRYLENS シートをそのまま保管する事は避けてください。
- e:DRYLENS シートは、シールドや他の防曇シートより傷が付きやすいため、装着時や取り扱いには十分注意してください。
- e:DRYLENS シートは、先端の細いもので強く押ししたり、強く折り曲げたり、強い衝撃を与えないでください。調光機能が破損する恐れがあります。
- e:DRYLENS シートは素材の特性上、視界に影響のない範囲に小さい傷などがありますが、機能上の問題はありません。
- 防曇性能が低下したり、e:DRYLENS シートに傷が付いたりした場合は、新しいものと交換してください。その際は、SHOEI 純正品の e:DRYLENS シートをご購入ください。
- ライディングポジションによって、e:DRYLENS シートのシーリングが視界にかかることがあります。
- e:DRYLENS シートを装着すると、ライディングポジションによっては視界がゆがんで見える場合があるのでご注意ください。
- 「e:DRYLENS コントローラーの取り付け」作業時に取り外したシート固定ピンは、再利用しないでください。
- e:DRYLENS コントローラーのみを取り付けた状態（e:DRYLENS シートを取り付けていない状態）で走行しないでください。
- e:DRYLENS コントローラーのハーネスと、e:DRYLENS シートのコネクタの取り付け、取り外し作業はゆっくりていねいに行ってください。頻繁な付け外しや、無理な力を加えたり、ハーネスのケーブル部分を引っ張って取り外したりすると、ハーネスとコネクタが破損する恐れがあります。
- e:DRYLENS コントローラーの充電は、周囲温度が 0℃～40℃の環境で行ってください。この範囲外の低温、高温下での充電は、バッテリー寿命の低下につながります。
- e:DRYLENS コントローラーは、必要以上の連続充電をしないでください。e:DRYLENS コントローラーのバッテリーが満充電になったら、必ず充電用コネクタから USB ケーブルを抜いてください。
- e:DRYLENS コントローラーと USB ケーブルを抜き差しする場合は、必ず e:DRYLENS コントローラーと USB ケーブルの根元部分を持ち、ゆっくり抜き差ししてください。無理な力を加えたり、ケーブル部分を引っ張って抜いたりすると、e:DRYLENS コントローラーが破損する恐れがあります。
- バッテリーから漏れ出た液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- バッテリーは、繰り返しの使用や経年劣化により、充電容量が低下します。（寿命によるものです。）
- e:DRYLENS シート着脱の際に、シートを湾曲させたり、指で触れるなどの影響で液晶面が一時的に暗くなる場合がありますが、液晶の特性であり、異常ではありません。
- e:DRYLENS シートの外周部に黒い縁取りが見られることがありますが、液晶の特性によるものであり、異常ではありません。
- e:DRYLENS シートの外周部の黒い縁取りは、製造上の個体差により左右で見え方が異なる場合があります。
- e:DRYLENS シートをシールドに取り付けると、e:DRYLENS シート内部の圧力が変化することにより液晶分子がシートの外周に移動し、e:DRYLENS シートが「ライト（透過率：高）」の状態でも、シート固定ピン付近でシート外周部の黒い縁取りが大きく見えることがあります。また、高温環境下では黒い縁取りがさらに大きく見えることがありますが、いずれも液晶の特性によるものであり、異常ではありません。
- 使用開始後 1 年以内に、e:DRYLENS シート外周部の黒い縁取りの面積が、使用開始時と比べて明らかに大きく変化した場合や、通常の見え方と異なる状態が認められる場合は、製品の故障の可能性あります。お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。



各部の名称



e:DRYLENS コントローラーの取り付け方

シールドに、e:DRYLENS コントローラーを取り付けます。

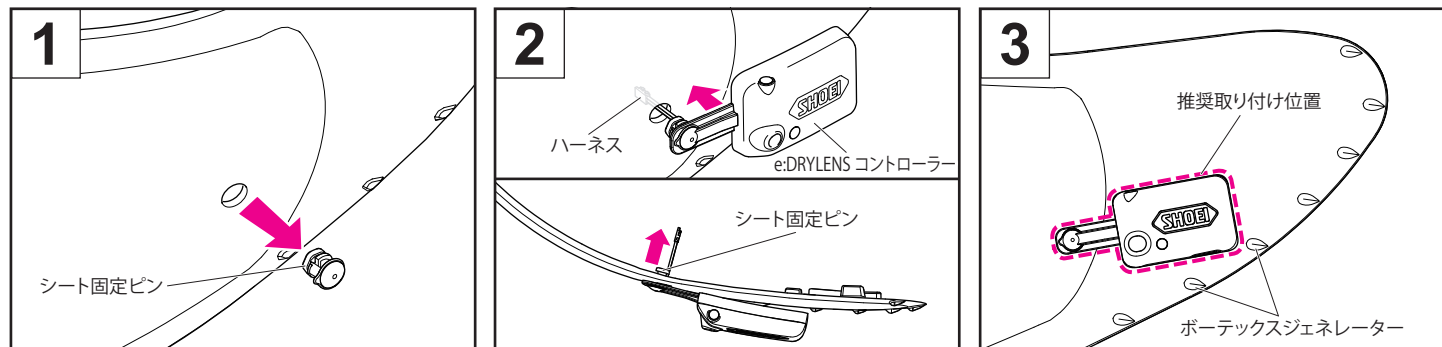


- e:DRYLENS コントローラーは、シールドに取り付ける前に、e:DRYLENS シートと仮接続して、動作確認を行ってください。
- e:DRYLENS コントローラー内のバッテリーが完全放電して動作確認できない場合は、「e:DRYLENS コントローラーの充電方法」を参照し、e:DRYLENS コントローラーを充電してください。
- e:DRYLENS コントローラーをシールドに取り付ける前に、シールドは水で薄めた中性洗剤で洗浄し、指紋や、油分、汚れを落としてください。また、作業前に手を清潔にしてください。

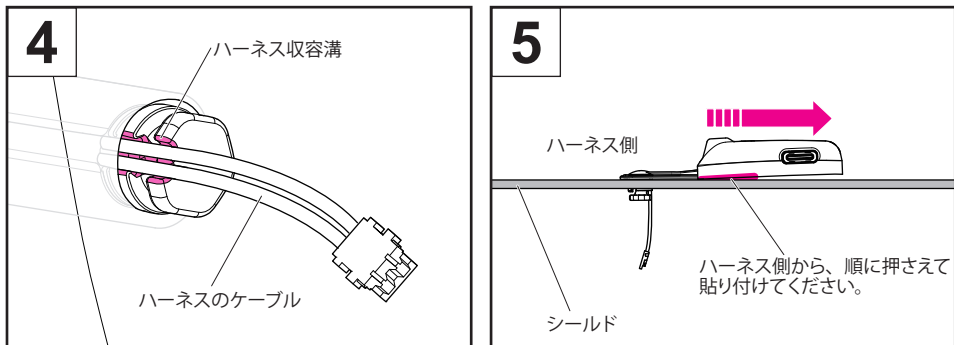
1. シールド左側のシート固定ピンを取り外します（図 1）。シート固定ピンの取り外し方については、以下の URL の動画をご確認ください。



https://www.youtube.com/watch?v=xIQ09UWW5Is&list=PLhF6G2AIRMGqGzzmg4_Iz9PLfngwHcuf4&index=7



- e:DRYLENS コントローラーは、バッテリージェネレーターに干渉しないシールドの平坦な位置に取り付けてください（図 3）。
- 両面テープの粘着力は強力なので、コントローラーが不要な位置に接着してしまわないように十分注意してください。必ず、両面テープの保護紙を剥がす前に、コントローラーの取り付け位置を仮決めしてから、両面テープの保護紙を剥がして取り付けるようにしてください。
- シート固定ピンを差し込む際は、ハーネスのケーブルがシート固定ピンの穴を完全に通ったこと、シート固定ピンのハーネス収容溝に沿ってケーブルが通っていることを確認しながら差し込んでください（図 4）。正しく差し込まないと、ハーネスの断線の原因となります。
- e:DRYLENS コントローラーを貼り付ける際は、図のように e:DRYLENS コントローラーのハーネス側から順に押さえるようにして、e:DRYLENS コントローラーとシールドの間にできるだけ隙間ができないように貼り付けてください（図 5）。



- e:DRYLENS コントローラーを貼り付ける際は、e:DRYLENS コントローラーを上から強い力で押さえないようにしてください。（力加減の目安：親指と人差し指とで摘まむ程度の力）
- 貼り付け後、両面テープの中心部に気泡が入っていても、取り付け強度に問題はありません。気泡が入っていても、貼り付け直さなくて大丈夫です。

e:DRYLENS シートの取り付け方

シールドに、e:DRYLENS シートを取り付けます。



- 保護フィルムを剥がす際は、液晶面へ負荷がかかったり、静電気が発生しないように、5 秒以上の時間をかけてゆっくりと剥がすようにしてください。
- 保護フィルムを剥がす際は、必ず e:DRYLENS コントローラーのハーネスが、e:DRYLENS シートのコネクタに取り付けられていないことを確認してから、剥がすようにしてください。

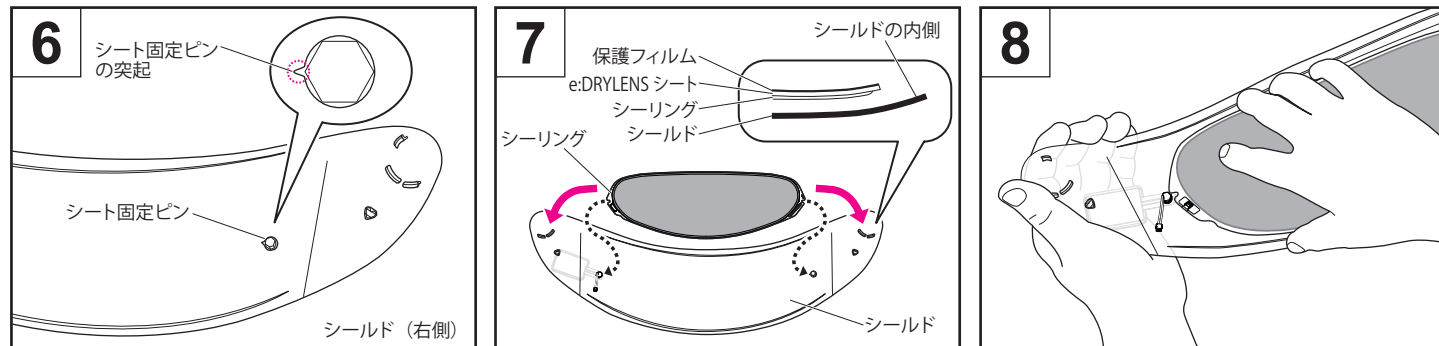
1. 専用のシールドに取り付けられている右側のシート固定ピンの突起が、図 6 のようにシールドの中心方向に向いているか確認します。突起が中心方向を向いていないときは、サービスツールや工具などでシート固定ピンを回して、突起を中心方向に調整してください。
2. e:DRYLENS シートの保護フィルムの両端を剥がし、シーリングがある面をシールドに密着するように取り付けます（図 7）。

* e:DRYLENS シートの上下は、保護フィルムに貼付されているステッカーの表示で確認してください。

この保護フィルムが貼ってある面を手前にしてシールドに取り付け、保護フィルムをはがしてから調整ください。
Install SHOEI DRYLENS lens with silicon beading contacting the inside of shield. Remove protective film before use. Installez le film antistatique SHOEI DRYLENS en positionnant le joint silicone en contact avec l'intérieur de l'écusson.
Otez le film de protection avant utilisation. Posez la partie du silicone SHOEI DRYLENS existant en el interior del escudo y antes del uso retire esta película protectora.



取り付けは、最初に図 8 のように片方のシート固定ピンに e:DRYLENS シートを差し込みます。

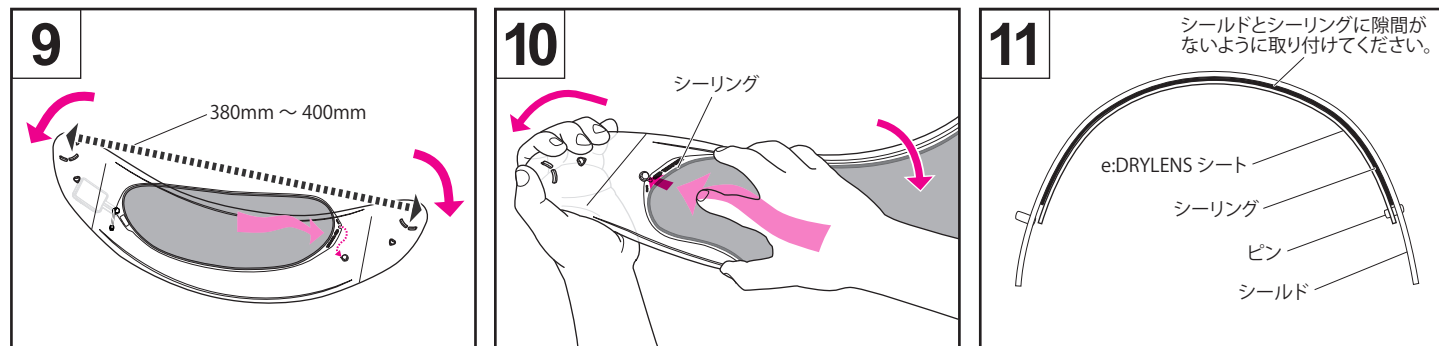


3. シールドを十分に開き（図 9）、e:DRYLENS シートの反対側もシート固定ピンに差し込みます（図 10）。



- シールドを十分広げずに装着しようとすると、シート固定ピンを破損することがあります。取り付けの際、シールド内側の汚れを取り、e:DRYLENS シートのシーリング側の面に手を触れないように、取り付けてください。

4. e:DRYLENS シートの保護フィルムを全て剥がします。
5. シールドをヘルメットに取り付け、e:DRYLENS シートのシーリングが、全周にわたってシールドに密着していることを確認します（図 11）。隙間がある場合は、「e:DRYLENS シートの調整」を参照して、調整してください。



e:DRYLENS シートの調整

e:DRYLENS シートがシールドに密着しない場合は、次の方法で調整します。

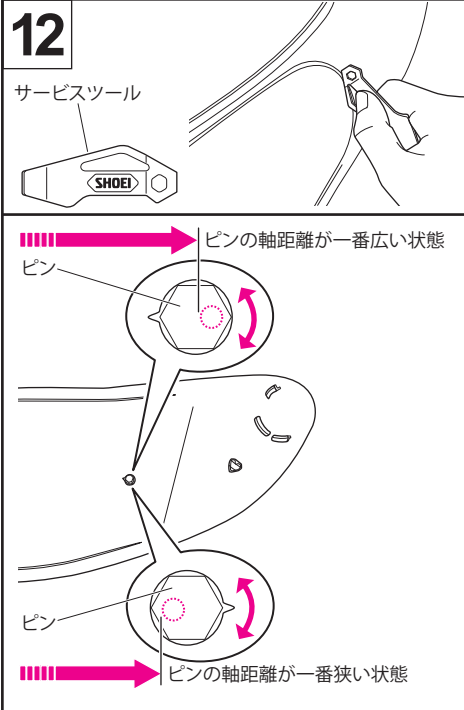


- シールドは、ヘルメットに装着していない状態では、装着した状態より e:DRYLENS シートの応力により広がっている場合があります。e:DRYLENS シートの密着確認は、ヘルメットに装着した状態で行ってください。
- e:DRYLENS コントローラーのシート固定ピンは偏心ピンではないため、e:DRYLENS シートの調整ができません。e:DRYLENS シートの調整は、右側のシート固定ピンで行ってください。

1. ヘルメットからシールドを外し、シールドから e:DRYLENS シートを取り外します。
2. シールド右側のシート固定ピンは、中心をずらした設計の「偏心ピン」を採用しています。シート固定ピンの突起がシールドの中心方向に向いている状態が、もっとも軸間が広がっているので、サービスツールや工具などでシート固定ピンを回し、軸間を狭めて調整してください（図 12）。
3. e:DRYLENS シートをシールドに取り付け、シールドをヘルメットに装着して、シールドと e:DRYLENS シートが密着しているか確認します。さらに調整が必要な場合は、手順 1 ～ 3 を繰り返して、調整してください。



- e:DRYLENS シートは気候により伸縮したり、長期使用により取り付け部が変形する場合があります。定期的に取り付け状態を確認し、調整範囲を超えた場合は e:DRYLENS シートを交換してください。

**e:DRYLENS のシートとコントローラーとの接続**

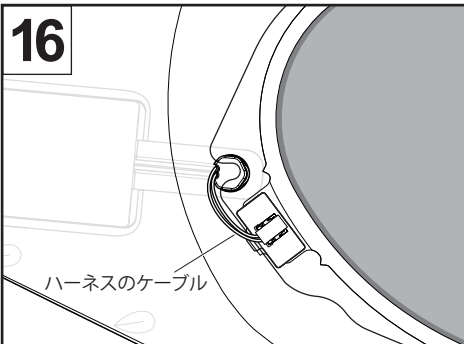
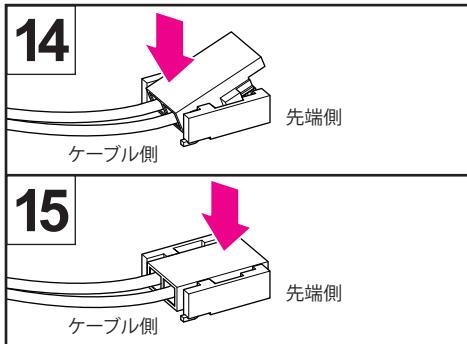
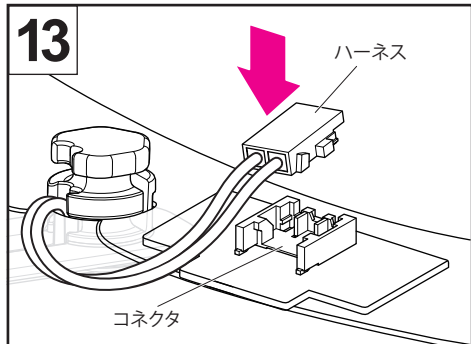
e:DRYLENS シートと e:DRYLENS コントローラーを接続します。

1. e:DRYLENS コントローラーのハーネスを、e:DRYLENS シートのコネクタに取り付けます（図 13）。ハーネスは、先にケーブル側をコネクタにはめ込み（図 14）、その後に先端側をはめ込んでください（図 15）。
* e:DRYLENS コントローラーのハーネスを、e:DRYLENS シートのコネクタに取り付けると、接続が完了し、e:DRYLENS コントローラーの操作が可能になります。

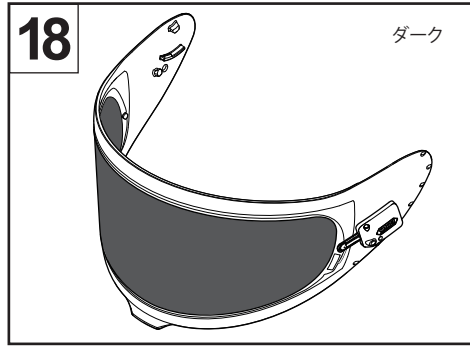
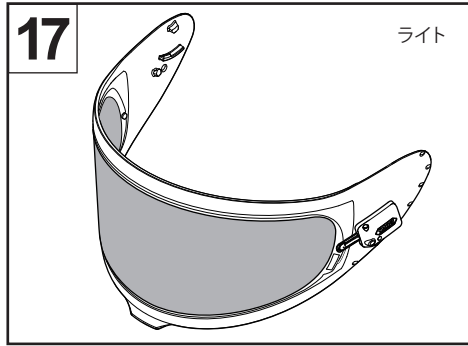


- e:DRYLENS コントローラーのハーネスと、e:DRYLENS シートのコネクタの取り付けは手順 1 の通りに、ゆっくりていねいに行ってください。間違ってハーネスの先端側からはめ込んだり、無理な力を加えると、破損する恐れがあります。

2. e:DRYLENS コントローラーのハーネスのケーブル位置を調整します。ハーネスのケーブルが、シールドから浮いてヘルメットの窓ゴムと擦れないように、できるだけシールドの表面に沿うように調整してください（図 16）。

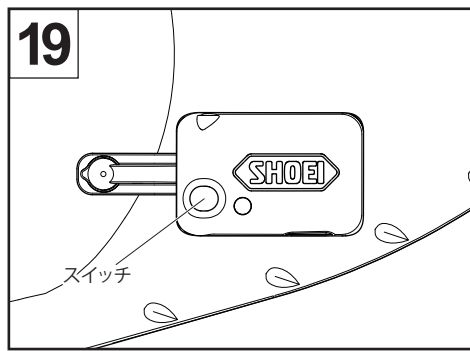
**e:DRYLENS の機能と操作方法****e:DRYLENS の機能**

e:DRYLENS は、マニュアルモードでの手動操作、もしくはオートモードの自動調整で、e:DRYLENS シートの可視光線透過率を「ライト（透過率：高）」と「ダーク（透過率：低）」に切り替えることができます（図 17、18）。

**マニュアルモードの操作方法**

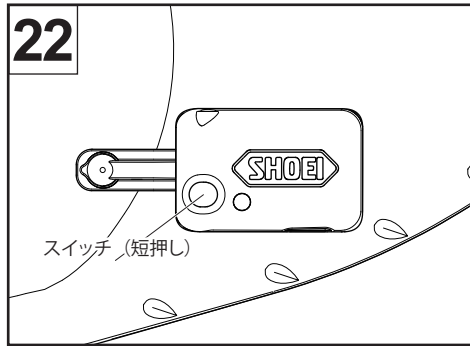
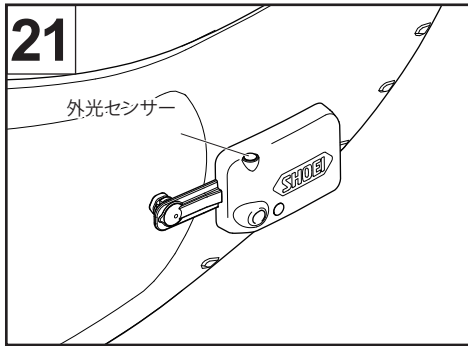
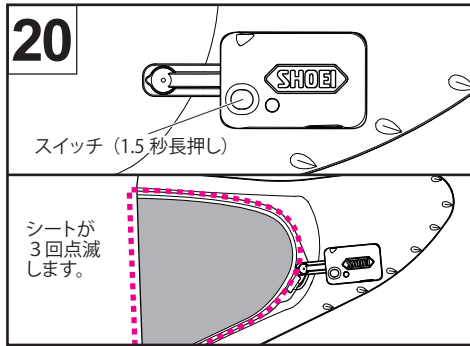
e:DRYLENS シートと e:DRYLENS コントローラーを接続すると、マニュアルモードで起動します。

e:DRYLENS コントローラーのスイッチを押す毎に、「ライト」と「ダーク」が交互に切り替わります（図 19）。

**オートモードの操作方法**

1. e:DRYLENS シートが「ライト」の状態で、e:DRYLENS コントローラーのスイッチを約 1.5 秒間長押しすると、e:DRYLENS シートが 3 回点滅し、オートモードになります（図 20）。
* e:DRYLENS シートの点滅を確認してから、スイッチを離してください。

オートモードでは、外光センサーで周囲の明るさを感知して、自動で e:DRYLENS シートの可視光線透過率を調整します（図 21）。
* 外光センサーの感度は固定で、調整することはできません。



e:DRYLENS コントローラーの充電方法

e:DRYLENS コントローラー内のバッテリーを充電します。
e:DRYLENS コントローラーの充電に関する仕様は以下の通りです。必ず、以下の電源仕様、コネクタ端子形状に適合した充電器やモバイルバッテリー、USB ケーブルをお客様にてご準備頂き、使用してください。

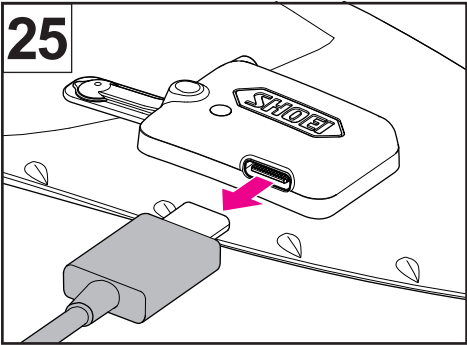
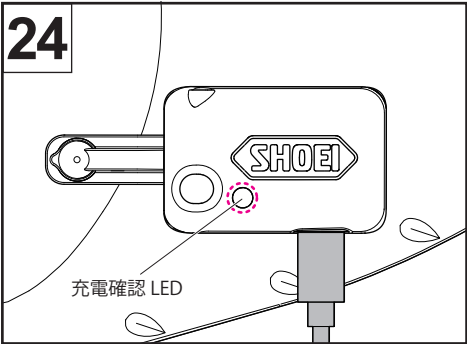
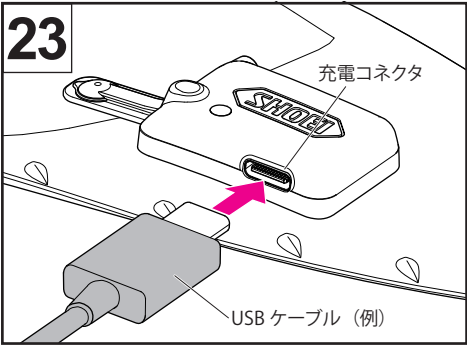
電源仕様	5 V / 50 mA
充電用コネクタ 端子形状	USB Type-C
充電時間	約3時間(完全放電から満充電までの時間)
使用時間	「ダーク」の状態 で連続約20時間 「ライト」の状態 (待機状態) で約1カ月

1. e:DRYLENS コントローラーの充電用コネクタに、充電器やモバイルバッテリーの USB ケーブルを差し込みます (図 23)。
充電が開始され、充電確認 LED が緑色に点滅／点灯します。
＊ 充電が開始されると、最初の約 1 分間は、e:DRYLENS シートが「ダーク」の状態になります。
2. バッテリーの充電状況は、充電確認 LED の状態で確認することができます (図 24)。
状態が示すバッテリー残量の目安は、以下の通りです。

LED状態	電池残量
消灯	90 % ～ 100 %
点灯	50 % ～ 90 %
低速点滅 (1秒間隔点滅)	20 % ～ 50 %
高速点滅 (0.25秒間隔点滅)	0 % ～ 20 %

3. 充電確認 LED が消灯したら、充電器やモバイルバッテリーの USB ケーブルを抜きます (図 25)。

- バッテリーが満充電になった状態で、長時間 USB ケーブル差したままにしないでください。
- 高出力対応の充電器やモバイルバッテリーを使用した場合、本製品の充電電流が少ない (50 mA) ために、充電器側の過充電防止機能が働いて充電完了を待たず早期に充電停止する事があります。必ず本製品の電源仕様 (5 V / 50 mA) に適合する充電器を使用してください。低電力モードを備えた充電器の場合は、充電器の説明書に従って、低電力モードに切り替えて充電してください。
- 一般に、リチウムイオンバッテリーは完全に放電した状態で保管すると、劣化する可能性があります。使用しない場合でも 2 ～ 3 カ月に一度、充電する事を推奨します。



e:DRYLENS のクリーニング

e:DRYLENS シートは、シールドから取り外し、水で薄めた中性洗剤で洗い、よくすすいでください。洗浄後は柔らかい布などで水分を拭き取ってから、自然乾燥させてください。

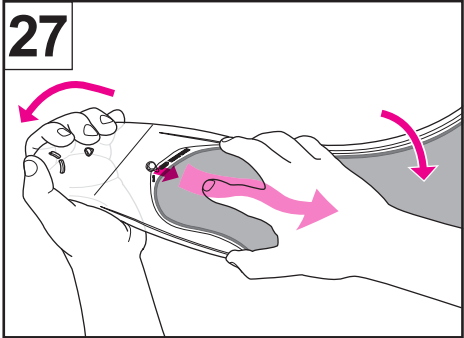
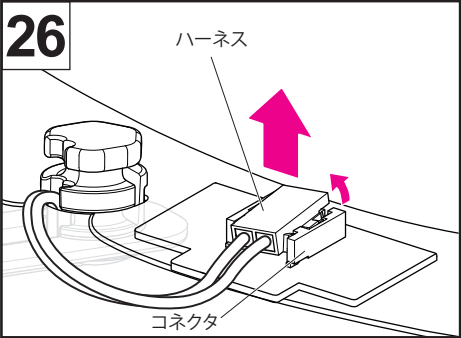
e:DRYLENS コントローラーは、柔らかい布などで乾拭きしてください。シールドの洗浄で濡れてしまった場合は、柔らかい布などで水分を拭き取ってから、自然乾燥させてください。

- お手入れの際は、パーツが破損する恐れがありますので、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガラスクリーナー、アルコール類、その他の溶剤は絶対に使用しないでください。また、ドライヤーなどの高温の熱源の使用は避けて自然乾燥させてください。

e:DRYLENS シートの取り外し方

シールドから、e:DRYLENS シートを取り外します。

1. シールドをヘルメットから取り外します。
2. 指の爪などを、e:DRYLENS コントローラーのハーネスの先端側に引っ掛けて持ち上げるようにし、ハーネスを e:DRYLENS シートのコネクタから取り外します (図 26)。
3. 取り付けた際と同様に、シールドを十分に開いた状態で、シート固定ピンから e:DRYLENS シートを抜き取ります (図 27)。



- e:DRYLENS コントローラーのハーネスと、e:DRYLENS シートのコネクタの取り外しは、手順 2 の通りに、ゆっくりていねいに行ってください。ハーネスのケーブルを引っ張って外そうとしたり、無理な力を加えると、破損する恐れがあります。

e:DRYLENS コントローラーを取り外す場合

e:DRYLENS コントローラーを取り外す際は、お買い求めいただきました正規販売店様までお問い合わせください。

本製品の保証

本製品の保証期間はご購入日より 1 年間です。

保証期間中に本製品の材質あるいは製造上の瑕疵があると認められる場合には、無償にて同製品の良品を交換いたします。保証対応の際には、ご購入時の正規販売店のレシートか領収書が必要です。レシートもしくは領収書は必ず保管しておいてください。

交換対応などについては、ご購入先の正規販売店にお問い合わせください。

以下の場合、保証期間内であっても保証の対象外となります。

- お客様の故意、もしくは不注意による故障または破損。
- 天災や災害、異常電圧による故障または破損。
- 取扱説明書に示された内容以外の使用をされた場合。
- 本製品を分解、改造などを行ったことに起因して生じた故障または破損。
- ご提示いただいたレシートや領収書の記載事項が判別できない、または修正などがされている場合。
- 日本国外での使用において発生した故障または破損。
- 経時劣化。
- 事故による破損、傷または汚れ。
- 通常のご使用過程において付いた傷または汚れ。

株式会社 SHOEI 本社・国内営業部

〒110-0016 東京都台東区台東 1-31-7 Tel: 03-5688-5180 Fax: 03-3837-8245

製品についてのお問い合わせは、お近くの SHOEI 正規販売店か下記 Web サイトをご覧ください。

shoei.com/worldwide/sales.html



Procedure and Precautions for Handling the e:DRYLENS

This instruction manual describes how to attach and detach the e:DRYLENS to and from the helmet shield/visor, and how to operate and charge the e:DRYLENS controller.

The compatible shield/visor varies depending on the type of the e:DRYLENS sheet. A compatible shield/visor is required to attach the e:DRYLENS sheet. Items required for this procedure: e:DRYLENS sheet (in the type for the shield/visor you will use), e:DRYLENS controller, and a flat-ended plastic plate such as the service tool

Note: The illustrations in this instruction manual show a typical shield/visor. The shape of your shield/visor may vary depending on its type. The same procedures as described in this manual may also be used with shields/visors shaped differently from those in the illustrations.

Features of e:DRYLENS

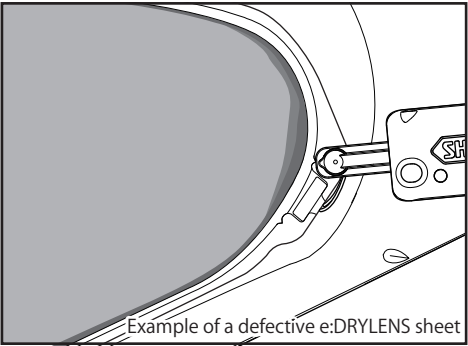
The e:DRYLENS incorporates a transparent, flexible, highly anti-fog e:DRYLENS sheet that attaches to the inside of the base shield/visor. The sealing around the edge of the sheet creates a sealed space between the e:DRYLENS sheet and shield/visor. The anti-fog effect of the e:DRYLENS sheet and double shield system effectively suppress fogging to ensure clear vision. Additionally, using the LCD film electrochromic tint adjustment, you can switch the tint of the e:DRYLENS sheet between light and dark manually in manual mode or automatically in auto mode.

Precautions for e:DRYLENS

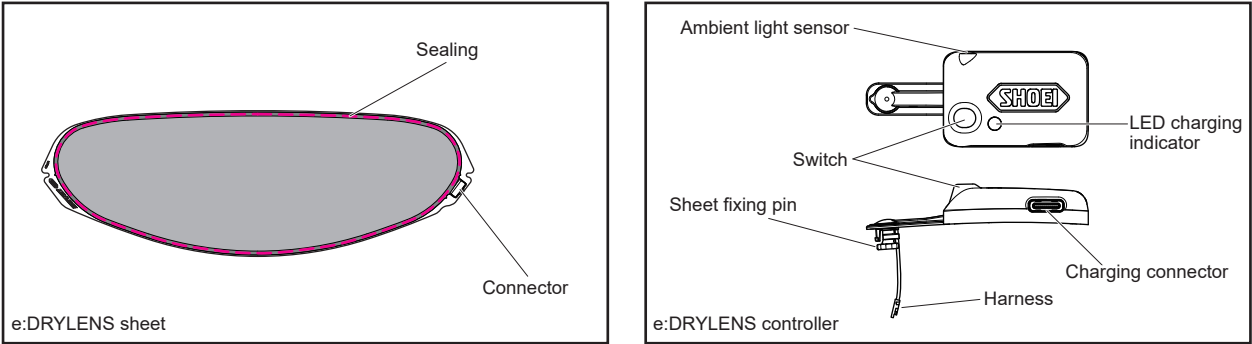
- **WARNING**
- The e:DRYLENS sheet can be attached only to a compatible shield/visor. Be sure to use a compatible clear shield/visor, sheet fixing pins, and e:DRYLENS sheet. Do not modify any shield/visor other than a dedicated compatible shield/visor or use sheet fixing pins other than the genuine parts. In addition, be sure to remove the protective film completely before using the e:DRYLENS sheet.
 - Do not use a helmet with the e:DRYLENS sheet or the e:DRYLENS controller attached in environments with poor visibility, such as at night, inside tunnels, during rain, or in fog.
 - Store the e:DRYLENS sheet and the e:DRYLENS controller indoors, and avoid direct sunlight, high temperatures, and high humidity.
 - Do not disassemble or modify the e:DRYLENS sheet or the e:DRYLENS controller. Doing so may cause risk of unusual noises, abnormal odors, heat generation, smoke, fire, discoloration, deformation, or liquid leakage.
 - If you find any abnormalities such as unusual noises, abnormal odors, heat generation, smoke, fire, discoloration, deformation, or liquid leakage while storing or using the e:DRYLENS sheet and the e:DRYLENS controller, immediately stop use and contact your local SHOEI distributor or dealer.
 - The e:DRYLENS controller has a built-in rechargeable lithium-ion battery. Be sure to thoroughly read and understand the contents of this instruction manual to use the e:DRYLENS controller correctly. If not used correctly, there is a risk of unusual noises, abnormal odors, heat generation, smoke, fire, discoloration, deformation, or liquid leakage.
 - To charge the e:DRYLENS controller, be sure to use a charger or mobile battery with a USB cable that complies with the power specifications of this product (5 V/50 mA). Charge the e:DRYLENS controller indoors and avoid places exposed to direct sunlight, high temperature, and high humidity.
 - Do not ride while charging the e:DRYLENS controller.
 - If the e:DRYLENS controller gets wet from rainwater, etc., or after cleaning, do not charge it immediately, even after wiping off the moisture. Moisture may remain in the charging connector, which could cause malfunction. Be sure to allow sufficient time for the e:DRYLENS controller to air dry before recharging it.
 - Do not apply any strong impact to the e:DRYLENS sheet or the e:DRYLENS controller, such as dropping or striking the helmet. Doing so may cause abnormalities with the battery, such as unusual noises, abnormal odors, heat generation, smoke, fire, discoloration, deformation, or liquid leakage. If any abnormality occurs, immediately stop using the e:DRYLENS controller, store it in a safe place where there is no risk of fire or other hazards, and contact your local SHOEI distributor or dealer.
 - Do not place the e:DRYLENS sheet or the e:DRYLENS controller near a heat source such as a heater, or put them into a fire. Doing so may cause fire, deformation, or damage.
 - If liquid leaking from the battery enters your eyes, rinse your eyes with clean water and do not rub them. Seek medical attention immediately. Failure to do so may result in loss of vision.
 - This product is designed and manufactured for use in Japan only. SHOEI cannot provide support for any problems that occur when using the product outside Japan.
 - Dispose of the e:DRYLENS sheet, accessories, and packaging materials appropriately in accordance with local laws and regulations. The e:DRYLENS controller contains a rechargeable lithium-ion battery. Recycle or dispose of the e:DRYLENS controller according to your local regulations for items that contain batteries.



- Using the product with the e:DRYLENS controller attached may increase wind noise.
- If the helmet is continuously used under conditions prone to fogging, such as heavy sweating, breathing, low temperature, or high humidity, with the inside of the helmet sealed, the e:DRYLENS sheet may become saturated with water vapor, causing streaks and fogging even with the e:DRYLENS sheet attached. Installing the chin curtain reduces ventilation inside the chin guard, making it more susceptible to streaking and fogging. (Due to the structure of the sheet fixing pin, the sheet may lift around the pin, causing fogging.) If this occurs, immediately stop using the helmet, remove the e:DRYLENS sheet from the shield/visor, dry it sufficiently, and ventilate the inside of the helmet well by opening the lower air intake of the helmet.
- In rainy weather, take care to prevent rainwater from entering between the shield/visor and e:DRYLENS sheet. Particularly when riding, rainwater may get past the sealing around the e:DRYLENS sheet due to wind pressure, so ensure that the shield/visor and face cover are closed while riding.
- If fogging occurs between the shield/visor and e:DRYLENS sheet or if rainwater enters this space, detach the e:DRYLENS sheet and allow both the shield/visor and e:DRYLENS sheet to air dry completely before reattaching.
- Detach and clean the e:DRYLENS sheet periodically. If the e:DRYLENS sheet is left attached for an extended period of time, the sealing may adhere to the shield/visor surface.
- When storing the e:DRYLENS sheet, wrap it in a soft cloth and store it indoors, avoiding direct sunlight, high temperature, and high humidity. Any dust or lint can be removed easily using an air duster. Do not store the e:DRYLENS sheet in its original product package or unwrapped.
- The e:DRYLENS sheet is more prone to scratching than the shield/visor or other anti-fog sheets, so exercise particular caution during attaching and handling.
- Do not press the e:DRYLENS sheet strongly with a thin-tipped object, bend it strongly, or apply any strong impact to it. Doing so may damage the electrochromic tint adjustment function.
- Due to the characteristics of the sheet material, there may be small scratches on the e:DRYLENS sheet in an area that does not affect visibility, but this does not cause any functional problem.
- If the anti-fog performance deteriorates or if the e:DRYLENS sheet is scratched, replace it with a new one. In this case, purchase the genuine SHOEI e:DRYLENS sheet.
- Depending on your riding position, the sealing of the e:DRYLENS sheet may obstruct your vision.
- Note that when the e:DRYLENS sheet is attached, your vision may appear distorted depending on your riding position.
- Do not reuse the sheet fixing pin detached during the procedure “Attaching the e:DRYLENS controller”.
- Do not ride with only the e:DRYLENS controller attached (while the e:DRYLENS sheet is not attached).
- Attach and detach the e:DRYLENS controller harness and the e:DRYLENS sheet connector slowly and carefully. Frequent attachment and detachment, applying excessive force, or pulling the cable section of the harness to disconnect it may damage the harness and connector.
- Charge the e:DRYLENS controller in an environment with an ambient temperature between 0°C and 40°C. Charging the e:DRYLENS controller outside this temperature range may shorten the service life of the battery.
- Do not charge the e:DRYLENS controller for longer than necessary. Once the e:DRYLENS controller battery is fully charged, be sure to disconnect the USB cable from the charging connector.
- When connecting or disconnecting the e:DRYLENS controller and USB cable, be sure to hold the e:DRYLENS controller and the plug on the end of the USB cable and connect or disconnect them slowly. Applying excessive force or pulling the cable itself to disconnect it may damage the e:DRYLENS controller.
- If liquid leaking from the battery contacts your skin or clothing, immediately rinse it with clean water.
- The battery has a finite service life and gradually loses charging capacity with repeated use and aging.
- When attaching or detaching the e:DRYLENS sheet, the LCD surface may temporarily darken due to factors such as bending the sheet or touching it with your fingers. This is a characteristic of the LCD and is not a malfunction.
- The outer edge of the e:DRYLENS sheet may have a black border, which is a characteristic of the LCD and is not a defect.
- The appearance of the black border on the outer edge of the e:DRYLENS sheet may differ between the left and right sides of the sheet due to manufacturing variations.
- When the e:DRYLENS sheet is attached to the shield/visor, changes in the sheet’s internal pressure cause its liquid crystal molecules to migrate toward the outer edge of the sheet. As a result, even when the sheet is in the “Light” (high transmittance) state, the black border around its outer edge of the sheet may appear wider near the sheet mounting pins. The black border may appear even larger in high-temperature environments, but this is also due to the characteristics of the LCD and is not a defect.
- Within the first year of use, if the area of the black border changes significantly compared to when use began, or if the border appears noticeably different to usual, the e:DRYLENS sheet may be defective. Contact your local SHOEI distributor or dealer.



Parts Description



Attaching the e:DRYLENS controller

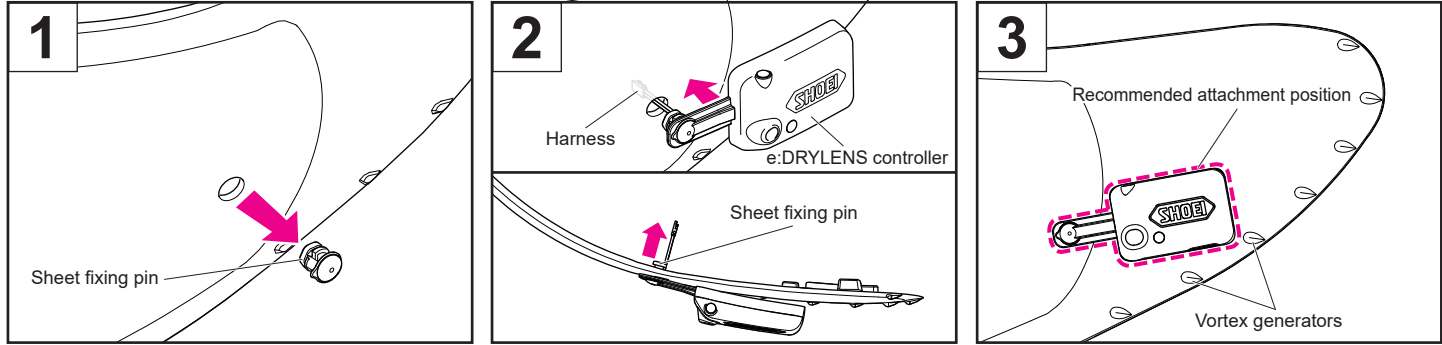
Attach the e:DRYLENS controller to the shield/visor.

- Before attaching the e:DRYLENS controller to the shield/visor, connect it to the e:DRYLENS sheet temporarily and check that it operates as expected. If the e:DRYLENS controller battery is completely discharged and the operation cannot be checked, charge the e:DRYLENS controller as described in "Charging the e:DRYLENS controller".
- Before attaching the e:DRYLENS controller to the shield/visor, clean the shield/visor with a mild detergent diluted with water to remove fingerprints, oil, and dirt. Additionally, clean your hands before starting.

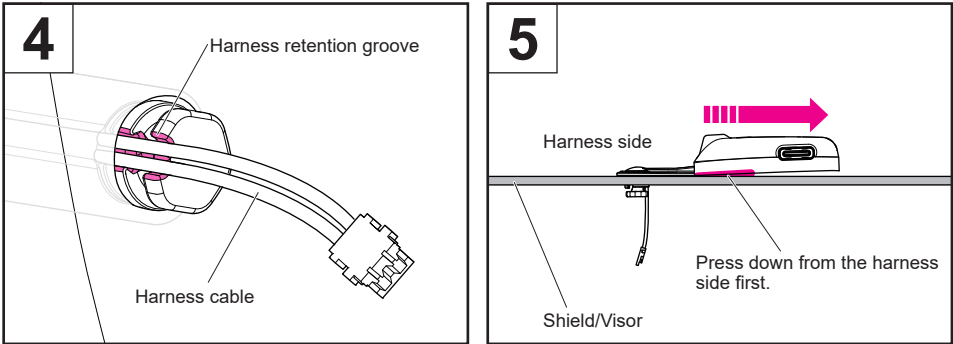
1. Remove the sheet fixing pin on the left side of the shield/visor (Figure 1). For details about the procedure to remove the sheet fixing pin, refer to the following video.



<https://www.youtube.com/watch?v=in-leHtGDOW&list=PLhF6G2AIRMGpTjMGYmogUT5YFcUeLEjK0U&index=31>



- Attach the e:DRYLENS controller to a flat section of the shield/visor where it does not contact the vortex generators (Figure 3).
- The double-sided tape adheres strongly once placed, so be careful to avoid accidentally adhering the controller to an unintended location. Before removing the protective paper from the double-sided tape, be sure to check the position by temporarily placing the controller where it will be attached, and then remove the protective paper and attach it.
- When inserting the sheet fixing pin, make sure that the harness cable has completely passed through the hole for the sheet fixing pin and that the cable is routed along the harness retention groove of the sheet fixing pin (Figure 4). Failure to do so may cause the harness to break.
- When attaching the e:DRYLENS controller, press it down from the harness side first, as shown in Figure 5, to minimize any gaps or bubbles between the e:DRYLENS controller and shield/visor.



- When attaching the e:DRYLENS controller, do not press it down with excessive force. (Approximate amount of force: Pinching force between the thumb and index finger)
- Even if air bubbles are present in the center of the double-sided tape after attaching, there is no problem with the strength of adherence. Even if there are air bubbles, do not try to detach and reattach the e:DRYLENS controller.

Attaching the e:DRYLENS sheet

Attach the e:DRYLENS sheet to the shield/visor.

- When removing the protective film, please peel it off slowly and carefully – taking at least five seconds – to avoid placing strain on the LCD surface or generating static electricity.
- When removing the protective film, be sure to check that the harness of the e:DRYLENS controller is not attached to the connector on the e:DRYLENS sheet before peeling off the film.

1. Check that the protrusion of the right sheet fixing pin attached to the shield/visor faces the center of the shield/visor as shown in Figure 6. If the protrusion does not face the center, turn the sheet fixing pin using the service tool or other tool to adjust the protrusion so that it faces the center.

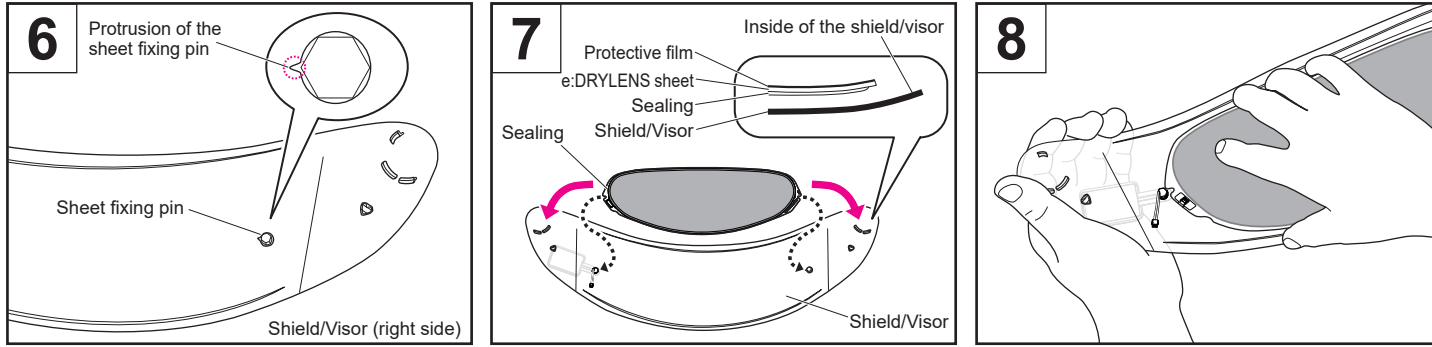
Note: The sheet fixing pin of the e:DRYLENS controller has no protrusion.

2. Peel off both ends of the protective film on the e:DRYLENS sheet and attach it so that the side with the sealing fits snugly against the shield/visor (Figure 7).

Note: Check which side of the e:DRYLENS sheet is the top and which is the bottom using the markings on the sticker adhered to the protective film.

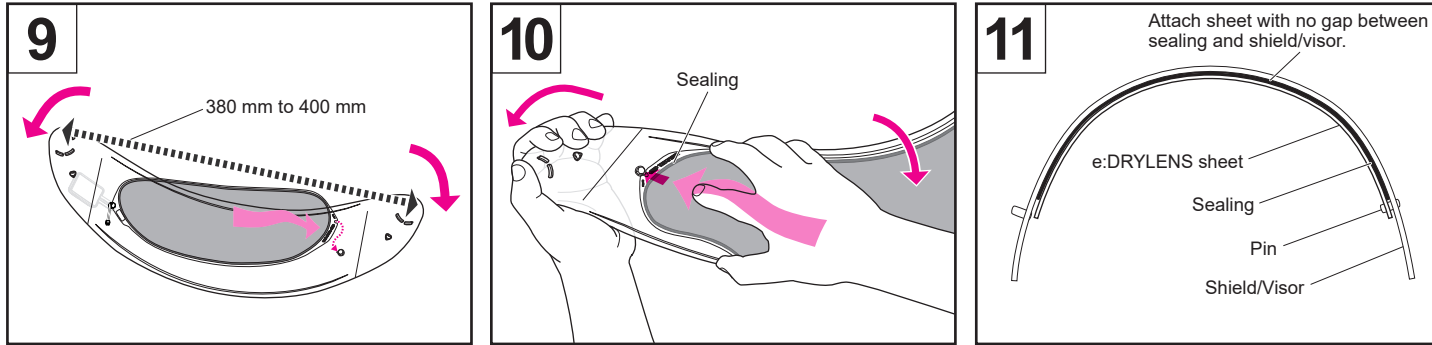


To attach the e:DRYLENS sheet, first hook it onto one of the sheet fixing pins as shown in Figure 8.



3. Bend the shield/visor open (Figure 9), and then hook the opposite side of the e:DRYLENS sheet onto the other sheet fixing pin (Figure 10).

- Attempting to attach the e:DRYLENS sheet without adequately bending open the shield/visor may damage the sheet fixing pin. When attaching the e:DRYLENS sheet, clean any dirt from the inside of the shield/visor and avoid touching the surface on the sealing side of the e:DRYLENS sheet with your hands.



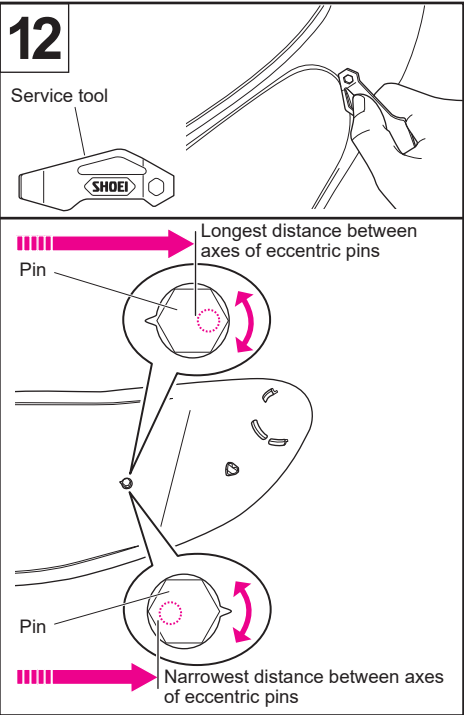
Adjusting the e:DRYLENS sheet

If the e:DRYLENS sheet does not adhere tightly to the shield/visor, adjust it using the following procedure.

- 
- When the shield/visor is not attached to the helmet, the shield/visor may bend open wider than when attached due to the stress from the e:DRYLENS sheet. Check the adhesion of the e:DRYLENS sheet while the shield/visor is attached to the helmet.
 - The sheet fixing pin of the e:DRYLENS controller is not an eccentric pin and cannot be used to adjust the e:DRYLENS sheet. Adjust the e:DRYLENS sheet using the sheet fixing pin on the right side.

1. Detach the shield/visor from the helmet, and then detach the e:DRYLENS sheet from the shield/visor.
2. The sheet fixing pin on the right side of the shield/visor is an eccentric pin with an offset axis of rotation. The distance between the two pin axes is greatest when the protrusion of the sheet fixing pin is oriented towards the center of the shield/visor. Rotate the sheet fixing pin so as to reduce the spacing using the service tool or other tools (Figure 12).
3. Attach the e:DRYLENS sheet to the shield/visor, attach the shield/visor to the helmet, and check that the shield/visor and the e:DRYLENS sheet are fully adhered. If further adjustment is needed, repeat steps 1 to 3 as necessary.

- 
- The e:DRYLENS sheet may expand or contract depending on the climate, and the attaching edge may deform due to long-term use. Check the attachment periodically. If adjustment beyond the range provided by rotating the eccentric pin is required, replace the e:DRYLENS sheet.



Connecting the e:DRYLENS sheet and controller

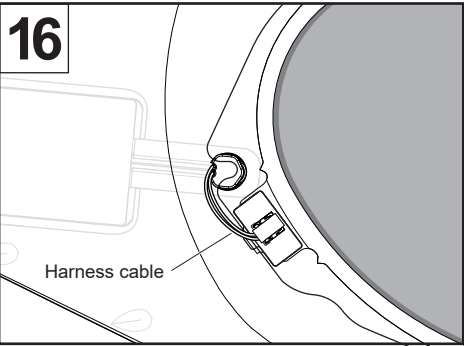
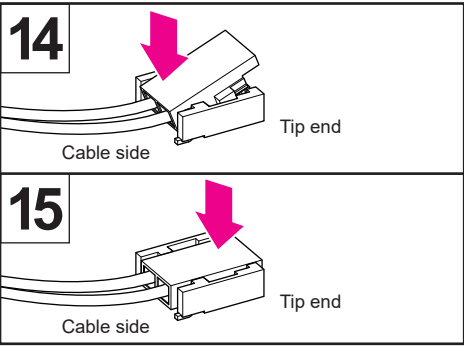
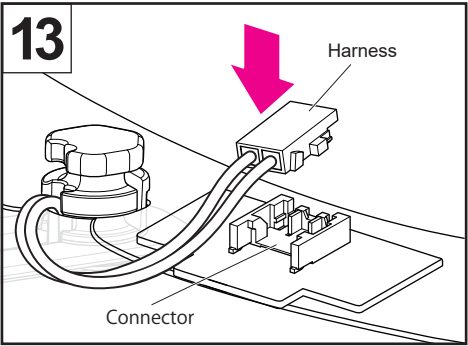
Connect the e:DRYLENS sheet and e:DRYLENS controller.

1. Attach the harness of the e:DRYLENS controller to the connector on the e:DRYLENS sheet (Figure 13). Insert the cable side of the harness into the connector first (Figure 14), and then insert the tip side (Figure 15).

Note: Once the harness of the e:DRYLENS controller is attached to the connector on the e:DRYLENS sheet, the connection is complete, and the e:DRYLENS controller can be operated.

- 
- Attach the harness of the e:DRYLENS controller to the connector on the e:DRYLENS sheet slowly and carefully as described in step 1. Inserting the tip side of the harness first by mistake or applying excessive force may cause damage.

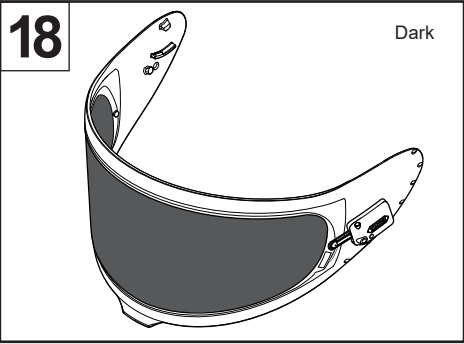
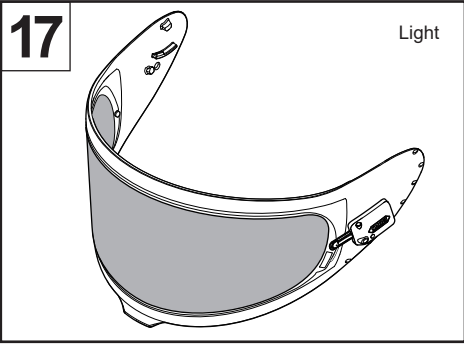
2. Adjust the harness cable position of the e:DRYLENS controller. Adjust the harness cable so that it lies as flat as possible against the surface of the shield/visor to prevent it from lifting from the shield/visor and rubbing against the window beading of the helmet (Figure 16).



e:DRYLENS functions and operating instructions

e:DRYLENS functions

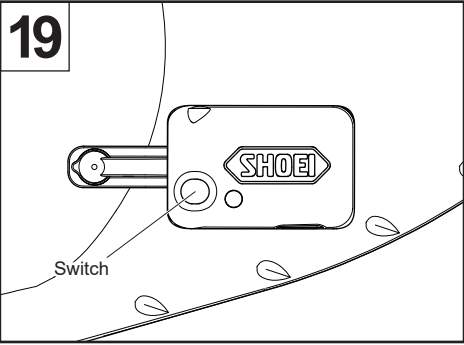
The e:DRYLENS sheet can be switched between light tint and dark tint manually in manual mode or automatically in auto mode (Figures 17 and 18).



Operating manual mode

When the e:DRYLENS sheet and e:DRYLENS controller are connected, the e:DRYLENS sheet starts up in manual mode.

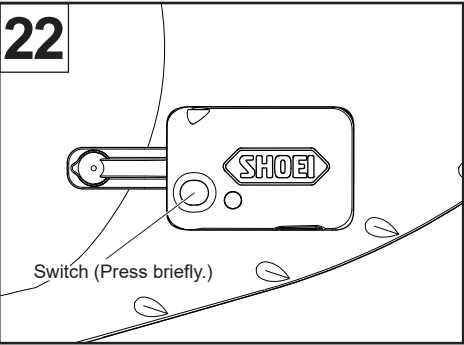
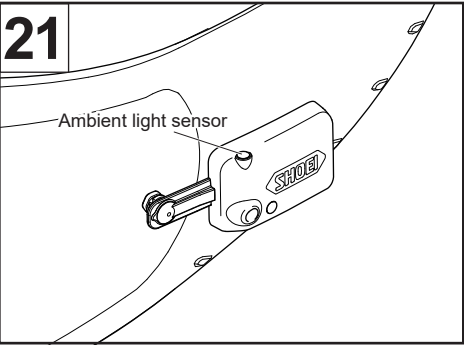
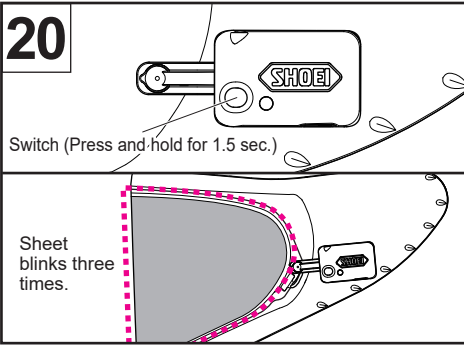
Each time you press the switch on the e:DRYLENS controller, the e:DRYLENS sheet switches between light and dark (Figure 19).



Operating auto mode

1. When the e:DRYLENS sheet is in the light state, press and hold the switch on the e:DRYLENS controller for approximately 1.5 seconds. The e:DRYLENS sheet will blink three times and enter auto mode (Figure 20).
Note: Release the switch when the e:DRYLENS sheet starts blinking.
In auto mode, the ambient light sensor detects the surrounding brightness and automatically adjusts the tint of the e:DRYLENS sheet (Figure 21).
Note: The sensitivity of the ambient light sensor is fixed and cannot be adjusted.

2. Pressing the switch on the e:DRYLENS controller briefly in auto mode cancels auto mode and returns the product to manual mode (Figure 22).
Note: When not using the helmet, set the e:DRYLENS sheet to light in manual mode to reduce battery consumption.



Charging the e:DRYLENS controller

Charge the battery in the e:DRYLENS controller.

The specifications for charging the e:DRYLENS controller are as follows. Be sure to use a battery charger, mobile battery, and USB cable that strictly comply with the following power specifications and connector terminal configurations.

Power specifications	5 V / 50 mA
Charging connector terminal	USB Type-C
Charging time	Approximately 3 hours (time from complete discharge to full charge)
Operation hours	Approximately 20 hours of continuous operation in the dark setting Approximately 1 month in the light setting (standby)

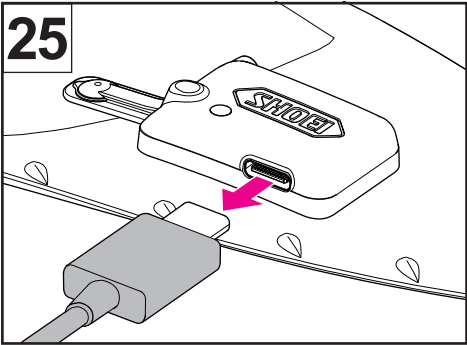
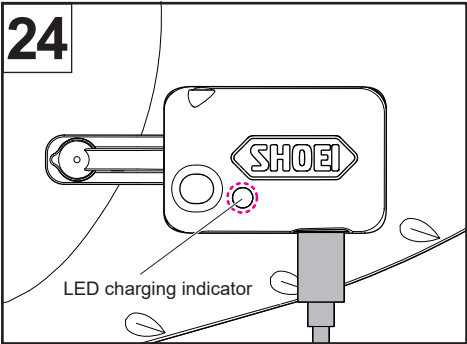
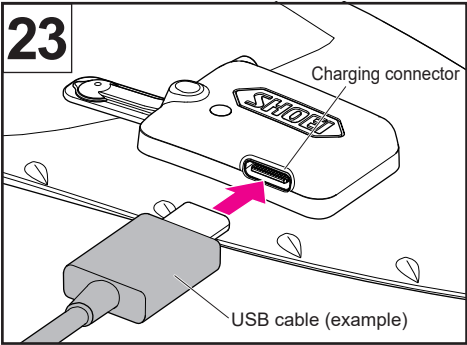
1. Insert the charger or mobile battery USB cable into the charging connector of the e:DRYLENS controller (Figure 23).
When charging starts, the LED charging indicator will blink or stay lit in green.
Note: When charging starts, the e:DRYLENS sheet enters the dark setting for approximately the first minute.
2. The battery charge status is shown by the LED charging indicator (Figure 24).
The LED charging indicator shows the approximate battery level as follows.

LED status	Battery level:
Off	90% to 100%
Lit	50% to 90%
Slow blinking (1-second intervals)	20% to 50%
Fast blinking (0.25-second intervals)	0% to 20%

3. When the LED charging indicator goes off, disconnect the USB cable from the charger or mobile battery (Figure 25).



- Do not leave the USB cable connected for an extended period of time after the battery is fully charged.
- When using a high-output charger or mobile battery, the low charging current of this product (50 mA) may trigger the overcharge protection function of the charger, causing charging to stop before completion. Be sure to use a charger that complies with the power specifications of this product (5 V/50 mA). When a charger has a low-power mode, switch to the low-power mode and conduct charging according to the charger's instruction manual.
- The lithium-ion battery may degrade if stored while completely discharged. It is recommended to charge the lithium-ion battery every 2 to 3 months even when not in use.



Cleaning the e:DRYLENS

Detach the e:DRYLENS sheet from the shield/visor, wash it with a mild detergent diluted with water, and rinse it thoroughly. After washing, wipe off any moisture with a soft cloth and then let it air dry.

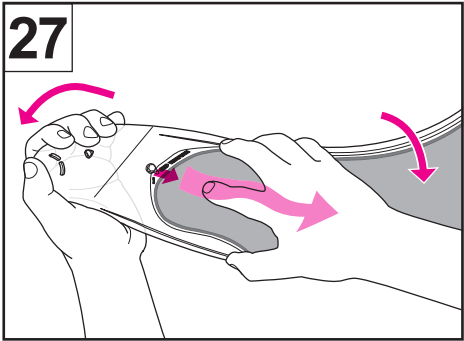
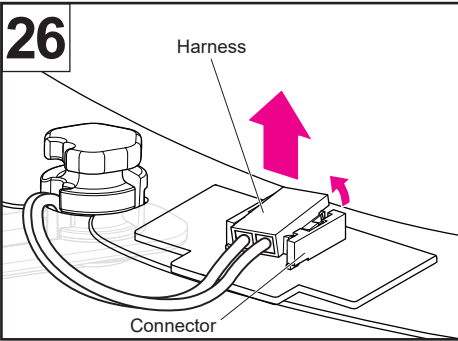
Wipe the e:DRYLENS controller with a dry, soft cloth. If the shield/visor gets wet during washing, wipe off any moisture with a soft cloth and then let it air dry.



- When cleaning, never use benzine, thinner, gasoline, glass cleaner, alcohol, or other solvents, as they may damage the parts. Also, avoid using any high-temperature heat source such as a hair dryer and allow the parts to air dry naturally.

Detaching the e:DRYLENS sheet

- Detach the e:DRYLENS sheet from the shield/visor.
1. Detach the shield/visor from the helmet.
 2. Hook your fingernail onto the tip side of the harness of the e:DRYLENS controller and lift it up to detach the harness from the connector on the e:DRYLENS sheet (Figure 26).
 3. With the shield/visor bent adequately open, as when it was attached, pull the e:DRYLENS sheet off the sheet fixing pins (Figure 27).





- Detach the harness of the e:DRYLENS controller from the connector on the e:DRYLENS sheet slowly and carefully as described in step 2. Pulling the harness cable to disconnect it or applying excessive force may cause damage.

Detaching the e:DRYLENS controller

To detach the e:DRYLENS controller, contact your local SHOEI distributor or dealer.

Product Warranty

The warranty period for this product is one (1) year from the date of purchase.

If this product is found to have material or manufacturing defects within the warranty period, SHOEI will replace it with a new product free of charge. To receive warranty service, the receipt from the certified SHOEI distributor or dealer where you purchased the product is required. Be sure to keep the receipt.

For details about our replacement service, please consult the certified SHOEI distributor or dealer from whom you purchased the product.

- The following issues are not covered by our warranty.
- Malfunctions or damage caused by the customer whether by accident or by design
 - Malfunctions or damage caused by abnormal voltage, natural disasters, or acts of God
 - Issues caused by using the product in ways other than those specified in the instruction manual
 - Malfunctions or damage caused by disassembling or modifying the product
 - If the submitted receipt is illegible or has been modified
 - Malfunctions or damage occurring in any area or country other than Japan
 - Deterioration that naturally occurs over time
 - Marks, scratches, or damage that occur as a result of accidents
 - Marks or scratches that occur during normal use

SHOEI CO., LTD. HEAD OFFICE

1-31-7 Taito, Taito-ku, Tokyo 110-0016, JAPAN Tel: +81 3 5688 5170 Fax: +81 3 3837 8245

For inquiries about our products, please visit your local SHOEI distributor or dealer or the website below and contact us.

shoei.com/worldwide/sales.html

